

1 教科の到達目標（学習のねらい、身に付けたい力）

- ・生活に必要な基礎的・基本的な知識や技能を身に付ける。
- ・生活と技術の関わりについて理解を深める。
- ・進んで生活を工夫し創造する能力と実践的な態度を育てる。

2 年間学習計画と単元(題材)

学期	題材名・単元名	学習内容
1 学期	【B 生物育成の技術】 ・生活や社会と生物育成の技術 ・さまざまな生物育成の技術 ・これからの生物育成の技術 ・生物育成の技術による問題解決	・生活や社会を支える生物育成の技術／身の回りにある生物育成の技術 ・作物の栽培技術／動物の飼育技術／水産生物の栽培技術／森林の育成技術 ・生物育成の技術の学習をふり返ろう 【生物育成実習】 ・カイワレダイコンの栽培
2 学期	【D 情報の技術】 ・情報セキュリティと情報モラル ・情報の表現と伝達	・情報セキュリティ／情報モラル／知的財産の保護と利用 ・使いやすさを工夫した情報の表現／メディアを利用した情報の表現／情報通信ネットワークのしくみ／Webのしくみと情報の表現 【デジタルコンテンツ制作実習】 ・情報セキュリティ・情報モラル啓発ポスター製作実習
3 学期	・これからの情報の技術 ・学習のまとめ	・情報の技術の学習をふり返ろう

3 評価方法

各 観 点	評 価 規 準	評価方法
知識・技能	生活と技術について理解しているとともに、それらに係る技能を身に付けている。	・定期考査・製作物・授業観察 ・振り返りフォーム等への記述
思考・判断・表現	生活や社会の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。	・定期考査・製作物・授業観察 ・振り返りフォーム等への記述
主体的に学習に取り組む態度	よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、生活を工夫し創造し、実践しようとしている。	・授業態度・作業の様子 ・授業観察

4 授業の取組についてのアドバイス

・技術の授業では、何気ない作業の1つ1つの中にも自分で課題を見付け、自ら考えて工夫しながら作業を進めていくことが大切です。例えばプログラミングで機器に目的の仕事をさせる場合、外部の状況を読み取るタイミング、作業をどんな手順でさせるのか、想定外のことが起きた場合はどうするか、などといったさまざまなことをよく考え、試行錯誤を繰り返しながら作業を進めていくことが重要です。

・普段から授業の説明をよく聞き、重要だと思った点があれば、指示がなくても自らの判断でノートに書き留めるなどの積極的な姿勢が必要です。

5 家庭学習の進め方についてのアドバイス

・技術科では、家庭での予習は特に必要ありません。そのかわりに、その日に学習した授業内容をよく思い出して、復習をしっかりするように心がけてください。

6 定期考査前の取組についてのアドバイス

- ・技術の試験問題には、実習時に説明した作品製作上のポイントや注意点などが多く出されます。
- ・授業で使用したプリントや授業ノート等を中心に復習するとともに、教科書の関連する部分にも目を通しておくようにしましょう。

7 苦手な人の取組についてのアドバイス

・技術の製作実習で重要なことは、集中して丁寧に作業に取り組むことです。この点によく注意して、先生の指示を守って取り組めば、必ず良い作品を仕上げることができます。あきらめずにがんばって取り組んでください。